



命を救った大なまず

暴れると地震が起きると言われているなまず。福津市は総合運動公園に「なまずの郷」と名付けるなど、縁の深い生き物です。今回はなまずに関するお話です。



なまずの郷の近くには、なまずを祭っている大森宮という神社があります。そしてこのような伝説が残されています。

時は永正8年（西暦1511年）。中国地方の守護大名、大内氏に仕える西郷（旧福岡町）出身の河津興光わきみつという武将がいました。ある時その興光が、あるじの命により京都での合戦に赴き、深手を負って倒れてしまいました。死のふちに着こうとしたとき、巨大ななまずが突然現れ、興光の命を救ったそうです。幸いなことに一命をとりとめた興光は、自らの故郷である西郷の氏神、大森の神様が救ってくれたと確信し、深い感謝をしました。そうして西郷ではなまずを神の使いとして大森宮に祭り、なまずを捕まえたり、食べたりすることを禁止しました。そして、今もなおこの地域ではなまずを大切に扱っています。

